

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

○ 事業概要

小野市シルバー人材センターは、平成 17 年 4 月 1 日に広域から単独の社団法人として出発し、公益社団法人への移行を平成 24 年 4 月 1 日に達成、社団法人として 7 年、公益社団法人として 6 ヶ年が経過したところです。

センターの事業は、会員の就業ニーズと家庭や事業所、公共団体等からの仕事の需要を結びつけることで、高齢者である会員に社会参加の機会と生きがいを与え、地域社会に貢献することを目的としています。また、希薄になった地域との結びつきを補完し、活力ある地域社会を創っていく役割も期待されています。

現在、小野市における高齢化状況は、平成 30 年 3 月末 60 歳以上人口では 16,314 人、対人口比率で 33.4%、高齢化率（65 歳以上人口比率）は対象人口 13,369 人で 27.4%に達していますが、健康で働く意欲のある高齢者は年々増加する傾向にあり、当センターにおいてもこれらの人々の期待に応えるべく、その使命を果たさなければならない状況下にあります。

先般、小野市などが主催するシニア活躍応援セミナーに参加しました。その中で高齢者の一人暮らし家庭において日常生活で一番困っているのは何でしょうかの質問に、「電球の取り換え」という答えでした。私たちが思う困り事と当事者の困り事にズレがあることを感じました。センターの事業は市民の皆さんの要望に耳を傾け、広く対応できる体制が必要であると実感しました。今後も、支えられる側から支える側として活動し、生涯現役社会の実現を目指して活躍してまいります。

平成 29 年度事業実績は、受託事業契約金額 278,842,603 円、派遣事業契約金額 18,684,812 円、合計 297,527,415 円となっており、昨年度を 2.8%下回った結果となりました。

会員数につきましては、3 月末時点で 569 の方が入会されており、就業実人員は 556 人、年間就業率は 97.7%となりました。

以下、平成 29 年度の主な事業実施状況を報告いたします。

○ 実 施 状 況

1. 高齢者の就業に関する情報の収集及び提供（公 1）

（1）広報媒体の作成・配布等

- ① 小野市の広報誌 30 年 3 月号にシルバー情報を掲載していただきました。
- ② 平成 16 年度から開設したシルバーホームページを、平成 29 年度に更新し 1 年間を通して情報提供を実施しました。

- ③ 会報第 27 号、28 号として「シルバーだより おの」を発刊し、会員への配布及び市内公共機関の窓口でのシルバー情報の提供を実施しました。
- ④ 全シ協、兵シ協、兵庫県等から提供された広報媒体を、会員への増刷り配布、公共施設への配備を実施しました。
- ⑤ 広報委員会を 7 月 25 日、11 月 13 日、3 月 5 日の 3 回開催しました。

(2) 公共機関等の行う各種イベントでの普及宣伝活動

- ① うるおい交流館エクラで開催された小野市産業フェスティバル会場に、「刃とぎ」コーナーを設置、刃とぎ会員の匠の技を提供しますが、2 日目は台風のため途中中止となりました。そして、毎週日曜日には、ひまわりの丘公園内の「匠の里・シルバー刃とぎ館」において刃とぎを継続して実施、シルバーの広告塔としての宣伝活動を行いました。

2. 高齢者の就業に関する調査及び研究 (公 1)

- (1) 兵庫県内のシルバー活動・事業情報を、兵シ協等主催の各種研修会に参加して見識を高め、当シルバーの事業展開に活用しました。

3. 会員の拡大と就業相談会等の実施 (公 1)

- (1) シルバー事務所を訪問された市民等を対象に、随時就業相談を実施しました。

(2) 平成 30 年 3 月 31 日現在の会員数は 569 人となりました。平成 17 年度～29 年度の間の子員の入会及び退会の動向は下表のとおりです。

区 分	会 員 数 (人)			入会者数 (人)			退会者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
17 年度末	298	137	435	27	25	52	22	20	42
18 年度末	328	161	489	53	45	98	23	21	44
19 年度末	358	170	528	62	28	90	32	19	51
20 年度末	387	199	586	74	42	116	45	13	58
21 年度末	418	217	635	89	42	131	58	24	82
22 年度末	429	223	652	69	30	99	58	24	82
23 年度末	408	222	630	63	40	103	84	41	125
24 年度末	432	211	643	69	30	99	45	41	86
25 年度末	424	214	638	50	31	81	58	28	86
26 年度末	431	218	649	49	27	76	42	23	65
27 年度末	410	210	620	36	22	58	57	30	87
28 年度末	408	219	627	32	21	53	34	12	46
29 年度末	379	190	569	49	18	67	78	47	125

(3) 平成 29 年度末の会員の地域別状況は下表のとおりです。

地 域 区 分	地 域 コード	会 員 数 (人)		
		男	女	計
小野 地区	0 1 0 0	43	36	79
小野東地区	0 1 1 0	86	38	124
河合 地区	0 2 0 0	46	21	67
来住 地区	0 3 0 0	35	14	49
市場 地区	0 3 1 0	71	33	104
大部 地区	0 4 0 0	41	23	64
下東条地区	0 5 0 0	52	21	73
市 外	0 6 0 0	5	4	9
計		379	190	569

(4) シルバー会員証の交付

会員の身分証明と自己責任の認識及び安全就業の心得の自覚を目的として、平成 29 年度入会会員 67 人に会員証を交付しました。

(5) 新入会員入会説明会等の開催

公益社団法人への移行に伴う平成 24 年 4 月 1 日からの正会員の入会については、新定款に基づく対応を実施してきましたが、平成 24 年 11 月からは、会員確保の観点から入会説明会を月 2 回のペースで開催してきました。本年度参加いただいた方は 92 人、その内新規会員として 55 人の方を登録しました。

説明会は下記の内容で実施したところです。

- ビデオ視聴、「会員のしおり」によるシルバー人材センターの仕組みの研修
- 安全・適正就業についての研修
- (公社) 小野市シルバー人材センターの事業概要説明

4. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務にかかる就業機会（雇用によるものを除く。）の確保及び提供（公 1）

(1) 事業実績の概要（受託事業）

- ① 会員数 569 人
- ② 就業実人員 520 人
- ③ 就業延人員 63,331 人日
- ④ 受注件数 1,881 件
- ⑤ 契約金額 278,842,603 円
- ⑥ 配分金 247,087,830 円 (会員 1 人当平均額 475,169 円)

(2) 事業実績の職種別内訳 (受託事業)

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技 術	ホークリフト運転等	3	2,341	12,511,346
技 能	剪定・大工・塗装等	605	2,249	18,229,694
事 務	筆耕・事務整理	20	45	231,795
管理・監視	施設管理等	18	8,872	42,597,281
折衝外交	配達・集金・文書配布等	2	114	610,500
一般作業	軽作業・補助作業・除草等	1,195	48,331	200,093,307
サービス	家事援助・社会活動等	38	1,379	4,568,680
合 計		1,881	63,331	278,842,603

(3) 事業実績の公共・民間別内訳 (受託事業)

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
公共事業	施設管理・清掃等	108	9,090	40,225,151
民間	企業・家庭 軽作業・除草・清掃 剪定等	1,772	54,082	237,840,852
	独自事業 刃研ぎ	1	159	776,600
合 計		1,881	63,331	278,842,603

(4) 事業実績の動向 (受託事業・平成 24 年度～平成 29 年度)

区 分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
会 員 数 (人)	643	638	649	620	627	569
就業実人員 (人)	543	547	551	539	533	520
就業延人員 (人日)	63,035	62,768	63,905	65,338	65,666	63,331
受注 件数 (件)	3,940	3,922	3,995	1,900	1,996	1,881
契約 金額 (千円)	282,919	279,108	284,551	288,930	290,254	278,843
配 分 金 (千円)	250,063	249,362	253,155	257,706	258,196	247,088
1人当配分金 (円)	460,520	455,871	459,447	478,119	484,420	475,169

(5) 就業開拓事業の推進

国庫補助対象事業として就業機会の創出事業が平成 22 年度をもって打ち切りとなったため、当センター独自に就業機会開拓員 1 名を配置し、1 月から 3 月には 2 名の非常勤職員を加え、年間約 219 日の就業開拓活動等を実施しました。主な活動内容は、シルバー広報媒体の配布を伴う市内事業所・家庭の訪問件数は 6,378 件、個別対話件数 1,636 件、新たな受注確保件数は 208 件 (見込み件数含む。) となっています。市内におけるシルバー事業の広報宣伝にも繋がったところです。

5. 有料職業紹介事業の実施について

シルバーワークプラザ内に有料職業紹介コーナーを設けましたが、求人申し込みはありませんでした。

6. 高齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会・研修会等の開催（公1）

(1) 剪定講習会の開催

本年度も昨年度に引き続き、剪定分野での就業を希望されている方に会員登録をしてもらい、剪定講習会を受講してもらいました。講師に森緑地造園・森弘明氏を迎えて実施し、講習会参加者は17人となりました。同講習会は、平成30年2月19日から23日にかけて5日間実施しました。講習会初日は午前中にシルバーワークプラザ会議室で講義を行い、その後、23日までは共進舎牧農園で実技指導を実施しました。

剪定会員の減少を改善するため初心者、中級、上級とレベルを分けた講習が必要と感じました。

(2) 草刈り・チェーンソー講習会の開催

4月20日、午後1時30分から共進牧場内で実技研修を開催、刈払機及びチェーンソーの構造と取扱い等について講習。受講会員は24人でした。

(3) 清掃講習会の開催

1月17日は新しい給食センターで、2月22日は午前の部はシルバーワークプラザ内で、午後の部は大池総合公園で清掃作業効率と技術向上のため清掃講習会を実施、受講会員は13人でした。

7. 安全・適正就業対策の推進（公1）

① 平成29年度安全・適正就業委員会を7月14日、10月5日、3月16日の3回にわたって開催

- ・職群班等・適正就業体制を確立
- ・安全適正就業推進活動計画の策定
- ・全シ協、兵シ協、小野市SCの事故状況の把握と対策協議
- ・安全パトロール状況の把握と対策協議

② 草刈班、剪定班の打合せ会の開催と協議の実施

- ・草刈班は4月27日に開催
- ・剪定班は5月24日に開催
- ・班編成の確立
- ・安全就業留意事項の徹底と意見交換
- ・剪定後、松に木が枯れる事案が発生、8月25日剪定班臨時会議を開催し、改善策等協議した

③ 安全グッズの整備

- ・年2回安全グッズの棚卸を実施し品目確認
- ・ヘルメット、安全帯、防御ネット等必要グッズを補充
- ・虫刺され対応蜂スプレーを常備し、剪定・草刈り就業に備えた

④ 安全・適正就業パトロール

- ・安全パトロール、7月7日、11月9日、2月14日の3回実施
草刈り、剪定、立木伐採現場をパトロールし、安全グッズの着用状況等をチェックし、危険な就業には是正勧告を実施、また、会社等の就業現場をパトロー

ルし、危険な就業、混在就業による指揮命令存在の疑義等の確認と安全対策を図るよう申し入れ改善に努めた。

・厚生労働省・全シ協が作成した「適正就業ガイドライン」を会議の都度説明し適正就業を推進しました。

⑤ シルバーリーダースクール（交通安全講習会・11月9日開催）への参加
平成20年度から続く第10年次の取組みとして、小野市交通安全協会が主催する講習会へ参加する形で会員の平成29年度交通安全講習会を開催。小野自動車教習所において、座学研修は高齢者で特に大事なものは目の動体視力、急いで操作せず、一呼吸置いて確認と操作をする。実車研修では、教官同乗のもとコースを試走し採点していただきました。自分の運転技術の再点検をするとともに安全運転の大切さを学びました。当日の参加会員は26人でした。参加会員一同、地域において高齢者に対する積極的な交通安全啓発活動に努めたいと、決意を新たにしたところです。

⑥ 安全・適正就業推進員の配置

平成29年度も引続いて安全・適正就業推進員を配置し、安全・適正就業対策を推進しました。特に今年度は就業中の事故が多発したため、その対策に努めました。また、「安全就業・適正就業だより」を毎月発行し注意を喚起しました。

⑦ 会員の就業の際の万一の事故や傷害、他者への損害賠償、シルバー事業の安全確保のため、平成29年度もシルバー保険に加入し、そのリスク補償に備えました。

なお、平成17年度～平成29年度の傷害事故・賠償事故等の保険事故件数等の状況は下記のとおりです。

[年次別傷害・賠償事故件数等、事案終結時でカウント]

年度	就業中	往復経路	入院日数	通院日数	身体賠償	財物賠償	動産保険
17	12	0	38	50	0	0	0
18	10	2	31	173	0	2	0
19	14	3	4	92	0	2	1
20	14	2	42	159	1	4	0
21	10	1	48	138	0	4	0
22	9	1	0	142	0	5	0
23	8	0	65	35	0	2	0
24	5	1	94	24	0	10	0
25	4	2	0	45	0	2	0
26	9	0	21	33	1	3	0
27	7	0	307	48	0	2	0
28	7	1	53	38	0	4	0
29	3	0	0	19	0	3	0

8. 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施状況（公1）

シルバー人材センターでの「適正な就業」を推進するため、平成20年5月から（社）

兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）において労働者派遣事業が実施されました。当センターにおいても兵庫労働局への届出により、兵シ協の小野市事務所として平成20年12月18日から派遣事業を実施しています。

平成20年度～平成29年度の小野市事務所での派遣事業の事業実績は次表のとおりです。

(単位:人・円)

年度	受注 件数	就業 人員	延べ 人員	賃 金	手数料	消費税	契約金額	委託料
20	5	3	74	198,875	39,775	11,931	250,581	25,200
21	155	40	5,475	19,805,230	3,486,614	1,134,768	24,426,612	2,382,450
22	123	38	4,993	16,501,490	3,020,752	971,422	20,493,664	1,980,300
23	63	26	2,116	6,604,884	1,166,049	386,499	8,157,432	582,750
24	105	55	5,732	24,597,888	3,649,281	1,341,574	29,588,743	2,116,800
25	149	46	4,651	18,475,719	3,162,011	1,081,846	22,719,576	1,845,900
26	161	41	4,360	18,791,557	3,282,332	1,758,182	23,832,071	2,093,040
27	22	15	2,727	10,231,859	2,016,598	969,123	13,217,580	1,173,960
28	27	30	2,804	12,314,237	2,423,767	1,162,109	15,900,113	1,540,080
29	40	36	3,438	14,861,667	2,448,343	1,374,802	18,684,812	1,707,480

※ 受託事業と派遣事業を合わせた事業実績のまとめ

派遣事業は事業主体である兵シ協の小野市事務所としての委託事業であるため、当センターの公益法人会計の収支計算書上、当該契約金額は現れてきません。従って、受託事業と派遣事業を合わせた事業実績を下表にまとめています。

年度	契 約 金 額			就業実人員	就業延人員
	受託事業 (円)	派遣事業 (円)	合 計 (円)		
20	352,821,675	250,581	353,072,256	539 人	74,322 人日
21	323,745,319	24,426,612	348,171,931	600 人	74,836 人日
22	291,976,749	20,493,664	312,470,413	586 人	70,070 人日
23	293,429,611	8,157,432	301,587,043	570 人	67,374 人日
24	282,918,229	29,588,743	312,506,972	598 人	68,767 人日
25	279,107,616	22,719,576	301,827,192	593 人	67,419 人日
26	284,550,906	23,832,071	308,382,977	592 人	68,265 人日
27	288,929,797	13,217,580	302,147,377	554 人	68,065 人日
28	290,254,127	15,900,113	306,154,240	563 人	68,470 人日
29	278,842,603	18,684,812	297,527,415	556 人	66,769 人日

9. 事務処理の集中化の推進（公1）

（公社）兵庫県シルバー人材センター協会及び兵庫県下10センターが共通する事務について、その処理の集中化を実施しました。今後も引き続き多くのセンターの参加と、事務の効率化、事務処理の水準の引き上げに向けた取り組みを推進します。

10. 独自事業の推進（公1）

（1）「匠の里・シルバー刃とぎ館」の開設

金物製造の街のイメージを高め、シルバー事業の地域における周知を図り、家庭用刃物の再生、匠の技を持つ会員への新たな就業機会の提供を目的に、平成18年11月から、ひまわりの丘公園内で「匠の里・シルバー刃とぎ館」を開設し、平成29年度も毎週日曜日午前9時から午後1時までの時間帯で継続事業として実施しました。本年度の事業への参加会員は、とぎと受付会員を含め11人、延べ159人日でした。

平成29年度も、小野市くらしの会から受付管理応援事業として、延べ6回、14人のスタッフのご参加をいただきました。小野市産業フェスティバルには10月21日、22日の両日、刃とぎコーナーとして出展し、とぎ発注者13人、30丁の刃とぎを実施しました。

平成19年度から平成29年度までの事業実績は下表のとおりです。

年度区分	発注者数 (人)	発注丁数 (丁)	研ぎ料金 (円)	延べ就業 (人日)
平成19年度	462	1,093	600,650	163
平成20年度	516	1,206	657,800	160
平成21年度	588	1,328	712,100	160
平成22年度	596	1,304	685,500	153
平成23年度	611	1,441	768,300	160
平成24年度	623	1,379	725,200	184
平成25年度	654	1,523	807,900	165
平成26年度	709	1,723	926,000	163
平成27年度	746	1,569	841,000	161
平成28年度	721	1,574	846,000	154
平成29年度	649	1,461	776,600	159

（2）剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業の取組み

当センターが受託した剪定業務にかかる当該剪定枝葉の処分については、野焼きの禁止措置、CO₂削減問題等の課題を受けての懸案事項であり、平成19年5月にはセンターの第一次中期計画における研究・検討課題として位置づけ、議論の積上げを実施してきたところですが、平成20年度における高年齢者就業機会確保事業費補助金の企画提案方式事業における「環境・教育」分野の補助事業として、「剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業」が採択され、小野市当局の支援を受けて当該事業を構築することができました。しかし、平成25年度からは独自事業としての事業構築・稼働となりました。

平成 20 年度～平成 29 年度事業実績は下表のとおりです。

(車数は軽四輪トラック換算)

区分 / 年度	会員 就業 日数	延べ 就業 人日	延べ 就業 時間	破碎 発注 者	破碎 受入 車数	破碎 推定 重量	チップ 排 出 車 数	訪問チップ化事業			
								受託 件数	就業 人日	延べ 時間	概算 処理 量
								戸数	人日	時間	車数
20	25	153	795	50	120	18	30	※	※	※	※
21	274	635	3,939	383	904	136	262	20	57	219	91
22	250	551	3,497	364	752	113	242	9	18	13	10
23	234	514	3,455	436	1,036	155	256	6	12	9	8
24	207	538	3,407.5	541	867	130	236	5	10	13	5
25	197	320	2,070.5	482	674	61	108	5	8	16	5
26	102	163	1,069	301	409	33	100	1	2	3	1
27	170	257	1,522.5	434	584	53	115	0	0	0	0
28	175	267	1,687.5	691	912	76	105	0	0	0	0
29	195	350	2,116.5	502	940	71	126	0	0	0	0

平成 29 年度の上記当該チップ 126 車の活用排出先は、市内公園敷設関係 57 車、桜つつみ回廊敷設利用等 6 車、市民の皆さんへ無料で提供した分が 63 車でした。継続してチップを敷設したところでは、雑草の抑制、乾燥防止、土壌改良に繋がり、植物の生育にととも良い環境を提供できています。

11. 会員組織の整備 (他 1)

地域班設置規程に基づき地域班をまとめ地区長体制を推進することができ、会員の福利厚生事業活動推進の中心として活躍していただきました。

12. シルバー会員の親睦と連帯意識の高揚に繋がる事業の展開 (他 1)

① 福利厚生委員会を 8 月 30 日と 3 月 22 日の 2 回開催しました。

② 会員親睦日帰り旅行を平成 29 年 11 月 5 日 (日) に実施しました。

行き先は奈良市の奈良国立博物館での正倉院展と平城宮跡でした。

昼食はホテルアジュール・奈良アネックスで行い、会員交流・親睦の場となり、明日への英気を養いました。併せて、喜寿のお祝い (該当会員 25 人) を当日参加の 5 人に理事長から渡され、参加者全員でお祝いをしました。

なお、当日の参加者は 83 人 (バス 2 台) でした。

③ 第 7 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会の開催

平成 29 年 11 月 15 日午後 1 時から、こだまの森・グラウンドゴルフコース

において、第7回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、40人の会員が技を競い合い、和気あいあいの中で会員相互の交流を深めることができました。

④ 第7回環境保全・ボランティア活動の実施

「あなたも是非ご参加を！！」「環境保全・ボランティア活動」をスローガンに、平成30年3月18日（日）午前10時から12時までの2時間実施しました。

・加古川左岸の「桜つつみ回廊」でのゴミ拾いに18人の会員

・国道175号線下「山田の里公園」でのゴミ拾いには29人の会員

合計47人が参加、軽四輪トラック2台に山盛りのゴミを収集、桜の開花直前の清掃作業となり、当該周辺の環境美化に貢献することができました。

13. 小野市シルバー人材センター中長期計画の推進（法人）

12月13日と3月1日の2回開催しました。前期5か年計画の総括とそれに基づき後期5か年計画を策定しました。また、地域の情報を取り入れ、後期計画を共有、発信してもらうため2月21日に地域班地区長・班長合同会議を開催しました。

14. 公益社団法人としての機関確保事業の実施（法人）

① 平成29年度定時総会を平成29年5月27日に開催いたしました。

② 事業推進の要として、理事会を6回（4月・5月・7月・10月・1月・3月）開催いたしました。

③ 公益法人業務の適正化を図るため4月と11月に監査を実施しました。

④ 総務財政委員会を11月29日と3月9日の2回開催しました。

⑤ 「会員等の顕彰に関する規程」に基づき、会員の20年表彰1人、10年表彰27人を定時総会で行いました。

⑥ 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会において兵シ協会長から会員が表彰されました。（会員期間15年7人）

⑦ 小野市長及び小野市議会議長へ「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践するシルバー人材センターの決意と支援の要望書を提出しました。

15. 事業及び会計処理の適正処理の実施（法人）

公益法人会計基準に基づいた会計処理の適正実施を確保するため、公認会計士事務所の指導を受ける体制を引続き確立し、4月24日、11月10日、2月16日に受けました。

16. 「シルバーワークプラザ」の活用について（公1・法人）

会員相互の交流、研修、作業場等として、これからの当センター事業の新たな展開にとって必要な、「シルバーワークプラザ」で会員の絵画、工芸品等の展示及び一般の方から写真を展示して頂きました。また、会員が趣味の手芸教室を開き市民の参加をはじめ多くの皆さんの交流の場となり、加えて理事会、専門部会、説明会、研修会等100回以上開催し、2,000人を上回る市民の方々や会員が利活用しました。